

月	1	先負
火	2	仏滅
水	3	赤口
木	4	先勝
金	5	友引
土	6	先負
日	7	仏滅・小暑
月	8	大安
火	9	赤口
水	10	先勝
木	11	友引
金	12	先負
土	13	仏滅
日	14	大安
月	15	赤口
火	16	先勝
水	17	友引
木	18	先負
金	19	仏滅
土	20	大安
日	21	赤口
月	22	先勝
火	23	友引・大暑
水	24	先負
木	25	仏滅
金	26	大安
土	27	赤口
日	28	先勝
月	29	友引
火	30	赤口
水	31	仏滅

7月 小間でのプチ茶会のご案内

7/25 木 26 金 27 土 9:00am ~ 4:00pm



「名水百選」に選ばれた竹田湧水群。大分県久住は阿蘇山系の湧水の中でも透明度とあっさりとした味わいが高く評価されています。今回のプチ茶会は「名水立」 お薄一服 どうかお気軽にお洋服にてお立ち寄りくださいませ!



トオル社長の テラックスな 珍道中

「武者小路千家 若宗匠 随縁齋宗屋の結婚式」に行きました!

6月2日ウェスティン都ホテル京都にて、武者小路千家随縁齋宗屋若宗匠の結婚式が盛大にとり行われました。元NHKアナウンサーの有働さんの司会。金剛流宗家の祝言の謡にはじまり、来賓のご挨拶は衆議院議員 伊吹文明。祝舞 市川海老蔵。乾杯 表千家千宗旦。1000人を越える盛大な披露宴でした。中でも、マツコデラックス、サービス満点! 貴方ツーショット! 高くつくわよ~なんて。しかしながらマツコさんの顔の大きさは半端なかった(°)。すぐ退席した海老蔵の素踊りがよかったので「延年之舞」をご紹介します。延年とは、ひとこと言えば、寺院において大きな行事の後に催されていた芸能大会のこと。歌や舞などその時代に流行しているさまざまな芸能や、神仏の功德を称える特別な芸能を、僧侶や稚児たちが披露するものでした。延年に専門的に携わる僧侶もいて、彼らは「遊僧ゆうそう」と呼ばれました。

十五代 随縁齋宗屋(ずいえんさいそうおく) 1975-
不徹齋宗守の長男として生まれる。平成15年4月後嗣号「宗屋」を襲名し、同年6月京都紫野大徳寺にて故福富雪底前管長より「随縁齋」の齋号を授与されました。平成19年に茶机「天遊卓」を好み、現代の生活様式に合わせた新しい形の立礼卓を生み出しました。平成20年には文化庁文化交流使としてアメリカに渡り、1年間ニューヨークを拠点に茶の湯文化の普及に努めました。茶道具はもとより日本美術史から古美術、現代アートにいたるまで造詣が深く、現在多方面の芸術家との交流を積極的に行い、活動の幅を広げています。平成25年1月 京都府文化賞奨励賞を受賞しました。

森田佳奈の「佳き日カナ」 令和元年7月16日は八坂神社献茶式お手伝い行きます。

祇園祭宵山7月16日に、表千家・裏千家お家元が隔年でのご奉仕。拝服席及び副席・協賛席が設けられます。今年は裏千家が担当で、立礼席でのお手伝いです。水屋で恒例の「行者餅」がいただけます(°)ここで行者餅のお話です!

行者餅は、疫病が流行った1806(文化3)年、「柏屋」の祖先、4世利兵衛が山伏として修行中に夢枕に現れた役行者のお告げに従って行者の衣を模した菓子を作り、祇園祭に供えたのが始まりと伝えられます。多くの疫病から逃れられたことから、宵山の1日に限り販売することになったといわれています。平成29年度の会記(立礼席)を掲載します↓

床	信春筆 祇園會四十二枚の内 月鉢	釜	独染形渦紋 浄雪	蓋置	円能齋好銀三寶
水指	信長公より利休拝領と伝来	水指	現川焼 縮緬ちりめん刷毛目	建水	エフゴ
花入	祇園守 金水引	薄器	蘇民将来棗 元齋宗哲	菓子器	行者餅
香合	認得齋一重切 祝の樽	茶杓	玄々齋 銘 大祓麻	菓子器	淡々齋好
扇	香合 円能齋好 冠	茶碗	不見齋手造赤平		水玉透 即全
棚	坐忘齋好 和親 黒四角		膳所焼 祇園會 月		

令和元年 推奨商品 鶯色ひわいろ 帛紗・古帛紗 北村徳齋製のご紹介です!



5月4日、皇居・宮殿で天皇陛下のご即位を祝う一般参賀が行われました。雅子さまがお召しになった鮮やかな色のドレス。この色は「鶯(ひわ)色」と宮内庁から発表されました。「鶯色」は、小鳥の鶯の羽毛の色。強い黄緑。黄色にかなり近い黄緑色で、日本の伝統色には珍しい、動物由来の色名の一つです。一夫一妻で繁殖し家紋にも使われ、古くは清少納言の枕草子38段にも綴られています。—北村徳齋帛紗店—

月刊 いつもの

ギャラリー さん

(題字・三輪休和)

116号 令和元年 2019年7月発行

令和二年歌会始のお題「望」

宮内庁より令和二年歌会始のお題が「望」と定められました。お題は「望」ですが、歌に詠む場合は「望」の文字が詠み込まれていればよく、「希望」のぞみ「望郷」のような熟語にしても、また「望む」のように訓読しても差し支えありません。

と掲載されています。

詠進歌を詠進してみませんか?

「百四十四ページより」



御前橘 ゴゼンタチバナ

ミズキ科で本州の中部地方以北。高山帯の林床に生える多年草。花期は六〜八月。四枚の白い花びらに見えるのは苞で、中央の二十個ほどの集合体が花。小さな常緑のミズキ科の多年草で花はハナミズキやヤマボウシに似ていて咲き方も同じ。秋に六ミリほどの綺麗な赤い実をつける。日本名「御前橘」の「御前」は白山の最高峰の御前峰に由来する。最初に白山で発見され、果実の形が橘に似ているからといわれている。

ご案内

ギャラリー森田ホームページ 右記のQRコードを読み込み アクセスしてください!

Instagram

七夕では里芋などの芋の葉にたまる朝露を集めて墨を擦り、それで願い事を書く習慣があります。朝露は月から落ちた天の水。その水で墨をすって字を書くことが上手くなったり文章が上達するといわれています。

月刊「ぎやらいさん」編集プロジェクト